

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和3年1月19日

会議の名称	第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 (第3回)
開催日時	令和3年1月19日（火） 10時30分～11時20分
開催場所	志木市民会館 2階 205会議室
出席委員	星野敦子委員長、安藤圭介委員、西川和男委員、金子真之委員、西田裕二委員、関口清久委員、小笠原諄乎委員 (計 7人)
欠席委員	大熊啓太副委員長、久保大地委員 (計 2人)
説明員職氏名	松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査 (計 2人)
議 題	第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について
結 果	意見を踏まえ修正したうえで、庁内会議に諮ることとなった。
事務局職員職氏名	外立秘書政策課長、松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

人事異動に伴う委員（1名）の変更について報告

2 議題

第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

事務局より、意見公募手続の結果、これまでの策定委員会における意見の計画への反映状況について説明し、その後審議を行った。

○意見公募手続の結果について

意見公募期間：令和2年12月1日から令和3年1月4日まで

計画の公開場所：市ホームページ、秘書政策課、市内公共施設7施設

意見募集方法：窓口に直接持参、郵送、Eメール、電子申請、市公式LINE

意見募集状況：0件

○これまでの策定委員会における意見の計画への反映状況について

- ・すべての具体的施策に戦略プロジェクト及びSDGsのロゴを表示
- ・政策パッケージの見方のページを作成
- ・横断的な目標3（地域と人とのつながりを力にする）を新設
- ・横断的な目標の次に基本目標を掲載する構成に変更
- ・政策パッケージ及び具体的施策の精査

（委員長）

意見公募手続後のため、大きな修正はできないが、素案や今までの会議などを通してのご意見等を頂戴したい。

（委員）

これまでの策定委員会での意見を反映していただき、非常に良い計画書ができたと思う。また、志木市独自の横断的な目標を設定するなど、地域特性のある総合戦略となっている。戦略プロジェクトやSDGsのロゴを表示したほか、基本目標の順番を変えたことにより関連のある施策が連続した配置となり、見やすくなった。

（委員）

今後は市民の目に触れてもらい、理解していただけるよう周知していくことや、これから市民になろうとしている人へ届けることが重要となるため、しっかりとプロモーションをしていただきたい。

（委員）

横断的な目標は、すべての施策に関わるものであるため、戦略プロジェクトのロゴ

はない方が良いのではないか。

(委員)

概要版について、計画の体系等がまとめられており、わかりやすい。

また、これから志木市民になろうとしている方に向けたプロモーションの中で、「住みたい、住んでみたい」や「安心した暮らしの中で住みたい」といったキーワードを計画書の中にも加えることができないか、検討していただきたい。

(委員長)

全体像の各基本目標の枠内にある、例えば、「新しい人の流れ」、「安心した暮らし」などの文言がキーワードにあたるのではないか。

(委員)

K P I については、過去数年間のデータなど、目標値を設定した過程の記載もあると、より説得力のある計画書になるのではないか。

(委員長)

K P I については、市民が志木市の良さや施策の成果を実感できるということが、最も重要だと考える。

非常に活発な意見や議論を経て、全体的にバランスのとれた流れの良い計画になった。

3. その他

(1) 今後のスケジュールについて

- ・ 庁内会議：令和3年1月26日
- ・ 2月下旬頃の発行を予定（同時期に委員にも冊子を配布予定）

(2) 事務局よりあいさつ

4. 閉会

星野委員長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。